

Communication Tools

コミュニケーションツール
総合カタログ

CATALOG vol.6



特別支援 ソーシャルスキル 感情表現 ストレスマネジメント 友達作り カウンセリング
教科教材 子育て支援 箱庭用具メルコム 指導者向けDVD

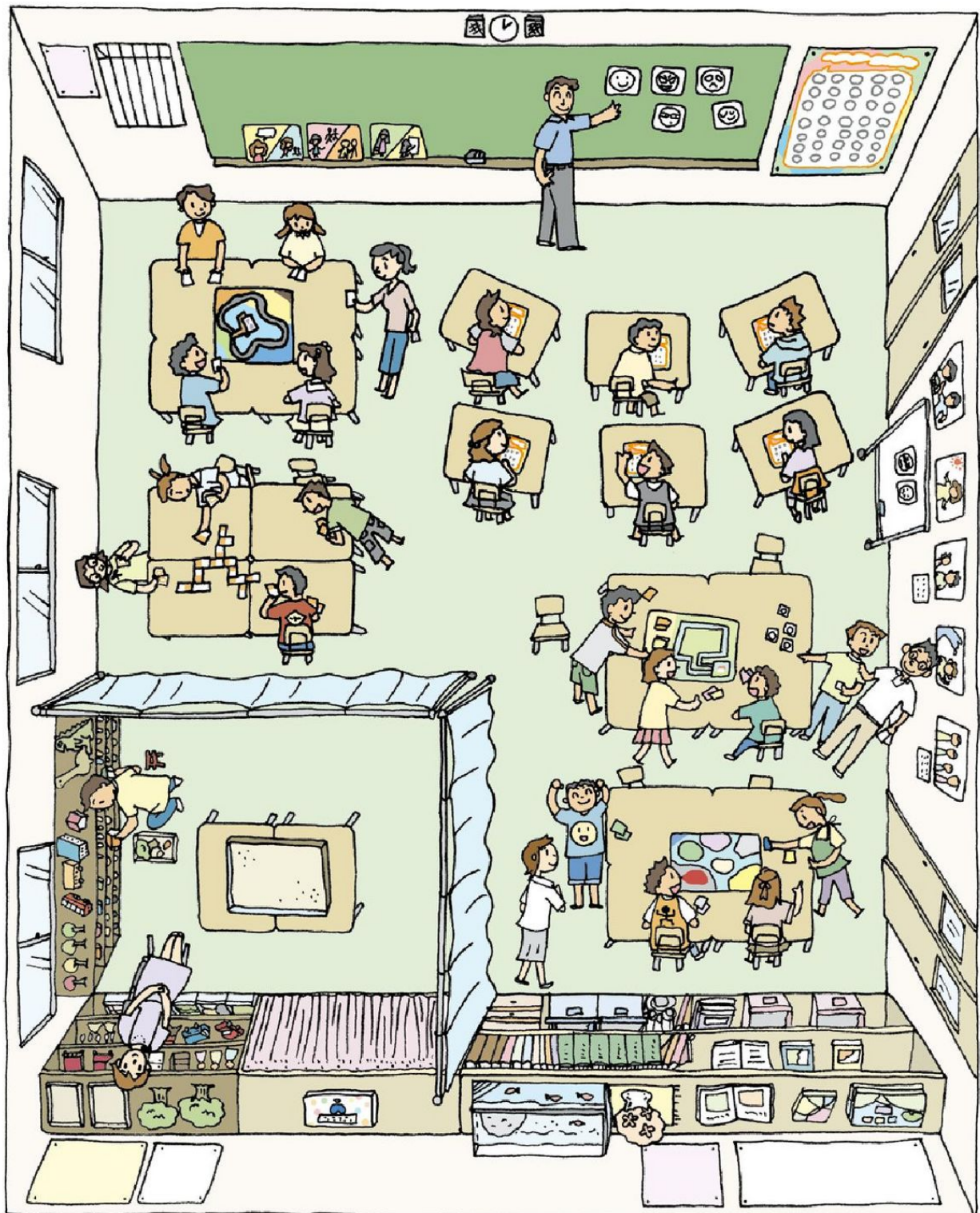
掲載ツールの 使用イメージ

本カタログで紹介するツールは、教室や保健室、カウンセリングルームなど、様々な場所での活用実績があります。また、最近は特別支援教室での使用も増えています。

各教材には使用法が書かれた説明書が入っておりますので、それぞれの教材

の特徴をふまえて、集団での活用、個別での対応をしていただきながらご使用ください。

尚、ツールのご使用にあたって、その元となる概念や、より詳しい実践例を関連書籍（各ページに掲載）にて解説しておりますので、こちらでも活用ください。



クリエイションアカデミーでは、長年にわたり箱庭療法で使用する用具を製作してきました。そういった活動のなかで、カウンセリングに従事する先生方との触れ合いから、「日本の環境に合ったツールを作ろう」と、約10年前からセラピーツールを開発、制作しています。

ツールの開発コンセプトは「遊びとコミュニケーション」。人と人のつながりにおいて、ツールという立体物がうまく介在する事で、より円滑にコミュニケーションが進められることを目的としています。そのためにはツールの持つ「ねらい」を明確化し、また子ども達がワクワク感を味わえる「遊び」の要素が必要であると考えています。

困難な状況で子どもの為に尽力されている先生方に、少しでも「現場で役立つ」ツールをご提案し、子ども達が力強く成長していくことが私たちの願いです。

Contents

特集：はじめての箱庭	4
箱庭用具「メルコム」	8
表情ポスター	12
表情カード	13
表情シート	14
表情マグネット	15
表情シール	16
SSTカード	17
SSTボードゲーム「なかよしチャレンジ」	18
SSTボードゲーム「フレンドシップアドベンチャー」	19
SST2 択展開カード「このあとどうなるの？」	20
ちょこっとチャット	22
アンゲーム	23
ワクワク！算数らんど	24
ことばのいずみ「Wプログラム」	26
ことばのいずみ「Lプログラム」「語のカテゴリー化テスト」	27
サイコロジーゲーム	28
DVD教材「箱庭療法の実践」	29
SSTDVD教材「トラブルは成長のチャンス」	29
プライスリスト	31



特集

はじめての 箱庭

「箱に砂を敷いて、その上にミニチュアを自由に置き、情景を作る」

箱庭について一言で説明するなら、それで事足りてしまいますが、日本での箱庭の歴史は古く、鎌倉時代、金閣寺・銀閣寺の庭園設計の際に、浅い木箱にその原型を作ったのが始まりと言われています。

その後、芸術としての《盆景》(盆の上に情景を作る)などが発展し、江戸時代後期から明治時代にかけては、小さな箱の中に景観を作っ

て楽しむ《箱庭》が流行するなど、ミニチュアの景色を作る文化は脈々と続いてきました。

戦後再び箱庭が注目されるようになったのは、心理学者の河合隼雄氏によって《箱庭療法》が日本に導入されてからです。

スイスのユング研究所に留学中の河合氏が、現地ですべての技法に触れたとき、「子ども頃に見た日本の箱庭に似ている」と思ったと言われています。

箱庭療法は、海外では「Sandplay Therapy」

砂遊び療法・と呼ばれるのですが、河合氏が日本に導入する際に「箱庭療法」と意識したのは、その時の印象が大きく影響したのだらうと思われま。

制作が難しくなく、言葉を使わずに表現できる箱庭は、言語表現が苦手な日本人にとって楽しめる遊びであるとともに、自己表現の手段として新たに受け止められ、現在、セラピーの場面で大いに活用されています。

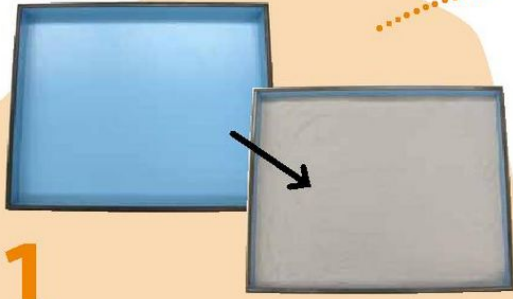
このように、表現手段として大きく花開いた

箱庭に、また新たな歴史の一ページが加えられるようとしています。

平成二十三年度に改定された小学校・中学校『教材整備指針』に特別支援教育枠が設けられ、その例示品名に《箱庭》が加えられました。今後、特に学校現場では、子どもたちが箱庭に触れる機会も増えることでしょう。日本人が古くから親しんできた《箱庭》という遊びを通して、子どもたちが自分を自由に表現し、豊かな心が育まれることを願ってやみません。

箱庭を作ってみよう

「絵は下手だし、文章も苦手で…」そんな人でも、気負わず“自分の作品”を作れるのが箱庭の良さ。砂箱と砂とおもちゃがあれば、誰でもできる箱庭作りを、誌面でシミュレーションしてみました。



1

机の上に砂箱をセットして、砂を入れる。

砂箱のサイズは幅72cm、奥行き57cm、高さ7cm。小学校の机より、ひとまわりくらい大きいサイズです。小さいお子さんが使う保育園などでは、ビニールシートなどを敷いた床に、じかにセットすることもあります。
※下記「砂箱」参照

2

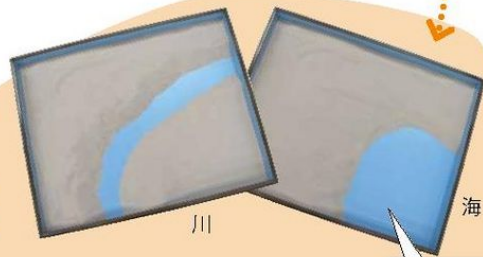


砂の感触を楽しむ。

おもちゃを置く前に、砂を触って感触を楽しみましょう。触っているうちに作品のイメージが膨らんできます。

※下記「砂」参照

3



正面を決めて、地形を作る。

砂箱は内側が水色に塗られています。砂をよけることで、海や川などの水の風景を作ることができます。（盛り上げれば山も作れます）



隅っこの砂が気になる時は、ハケなどで整えて。



4

おもちゃを置く。

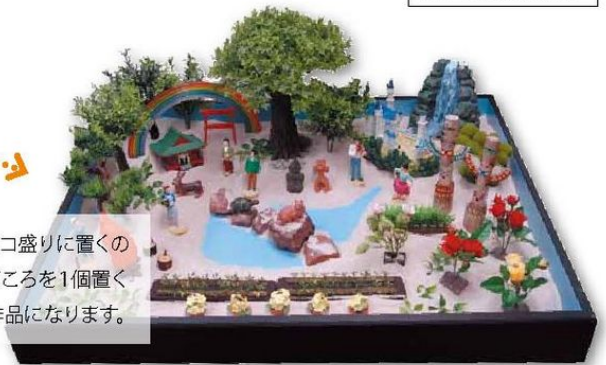
おもちゃは、専門の用具や自分で揃えたものなど、危険のないものなら何でも使えます。おもちゃを選んで砂の上に置き、風景やイメージを形作っていきます。制作途中で地形を変えたり、置いたものを取り替えてもOK。



たくさんあると表現も広がります。

できました！

写真のようにテコ盛りにもよし。小さな石ころを1個置くだけでも素敵な作品になります。



砂箱と砂



箱庭の作品作りに欠かせない砂箱と砂。遊びから発展し、心理療法に使われているこれらの用具には、それぞれ特徴的な心理的作用があることがわかっています。

砂箱



箱庭の最大の特徴は、「箱の中に砂を入れて使う」ことです。箱が持つ高さ7cmの『枠』が“心理的に守られた(保護された)空間:場”をもたらし、作者はその保護の中で、安心して自由に作品を作ることができます。

砂



自在に形を作り出すことができる、形を持たない砂。流動的な砂に触れることで緊張がほぐれ、作者の心をリラックスさせます。

注：心理療法では、神経症圏内の適用が最も一般的で効果があるとされ、統合失調の急性期の方には、砂の流動性が崩壊感を招きやすく、禁忌とされています。

子ども達と箱庭を楽しむために。

『教材整備指針』の特別支援教育枠に〈箱庭〉が加えられました。箱庭と言えば、心理療法で使っていて、専門家でないとなげないイメージですが、学校で使うためにどのようなことを知っておけばいいのでしょうか。箱庭の専門家として30年以上の実績を持つカウンセラーの先生に箱庭制作で起きていることや、学校で扱う際の留意点などを伺ってきました。



—先生はご自身のカウンセリングルームをお持ちですが、そちらにはどのような方がいらっしゃるのでしょうか。

基本的には、社会生活を送るのに問題を感じての方がほとんどですが、私の場合は、箱庭やコラージュなどの講師もしていますので、いわゆる一般の(健常である方の)、勉強のための制作体験も行っています。

—小学生や中学生のお子さんもいらっしゃいますか。

お子さんの場合は、保護者の方が連れていらっしゃる場合がほとんどです。親御さんがご自分のお子さんに問題を感じて、どう受け止めていけばよいのかヒントが欲しいと。

—お子さんに対して箱庭を使うこともありますか。

もちろんです。子どもは遊ぶことが大好きですので、砂遊びや人形遊びの延長線

のように感じて、純粋に楽しんでくれます。あなたも子どもの頃に、砂場で砂遊びとかやりませんでした？

—やりました、やりました！砂場で友だちと山を作って、あっちとこっちからトンネルを掘って、「つながった〜！」とか(笑)。

もう夢中になって遊びますよね(笑)。その楽しい感じが箱庭にはあるわけです。

ですが、強要することは絶対にしません。子どもにも大人にも「箱庭作ってみたい？」と声かけして、ご本人が「やりたい」と応答してくれた時だけ使うようにしています。指示的なことは行いません。

カウンセリングに限らず、何かしらの作品作りを強要されても楽しくないですし、下手するとクライになっちゃいますよね。

—楽しんで箱庭を作ることで、何が起きるのでしょうか。

砂を触っているだけでホッとしますよね。身体感覚的にも開放され、癒されます。砂を触って、話しをする。それだけで「楽しかっ

た」と終わる方もいらっしゃるくらいです。

また、砂箱という『枠』があることが大切で、枠が守られた空間を約束してくれるので、安心して自由にイメージを表現でき、それが開放感や満足感に繋がります。言葉にならない思いを作品として表現することができるので、心が軽くなります。

—お子さんの事例でどんなものがあるかお話しいただけますか。

事例を話すとき長くなりますよ(笑)。例えば、笑わない子が笑うようになったり、話さない子(場面かん黙)でも言葉が少しずつ出るようになったり。わかりやすい例では、お母さんに今まで言えなかったことを言うようになったり。

箱庭で満足した体験が重なっていくと、様々な表現ができるようになります。これは大人でも同じです。

—箱庭制作にそのような効果が見られるなら、ひとりで制作したあと、ひとりで片付けて…でも良いように思いますが。



学校での箱庭の使用は治療目的ではなく、気持ちを表すことの苦手な子どもへの思いを、どのように表現していくか、そのツールとして活用することが目的の一つになるのではないかと考えます。

子どもは、例えば自分が不安に思っていることなどを何らかの形で表現することがあり、時に危険を伴うこともあります。その気持ちを箱庭の中で安全に表現し、大人(この場合は教員)と話しをすることで自分自身の気持ちに気づくこと、そして自分の気持ちを適切に表現することで、生活レベルで起きるトラブルに対処できるようになることが大切になってきます。

小学校・中学校『教材整備指針』に特別支援教育の枠が新しく設けられ、情緒障害向け教材の例示品に〈箱庭〉が加えられました。掲載の詳しい経緯はわかりませんが、すでに特別支援学校で有効に活用されており、実績があることが要因かと思われま

教材としての箱庭を考える

「箱庭を作る」だけでしたら、それでも良いかもしれませんが、作品をめぐる会話（シェアリング）をすることがとても大事です。

シェアリングをして、作品の世界を覗きし、言葉で語り、声にすることで、イメージの世界から、現実の世界に戻していきます。作った作品は非言語で無意識的に表現されていますので、これを他人との対話＝コミュニケーションに乗せていくことが大切になってくるわけです。

— ちょっと難しそうです…。具体的にカウンセラーは何をするのでしょうか。

よく『見守り手』や『見守り役』と表現しますが、作者が作品を作っている間は手を出さず、静かに寄り添って見守る。困ったことがあったらお手伝いする程度。まずは、これが大事です。

よく公園の砂場で、子どもが遊んでいるところを、お母さんがじっと見守っている光景がありますよね。あんな感じです。

その見守り手のあり方が、作者にとっては、存在をまるごと受け入れてもらえる安心感に繋がります。これは普通の社会生活では、なかなか得られないものです。この安心感が、自由な表現を可能にしてくれるわけです。

作品が出来上がった後は、その作品について作者と話をします。見守り手は、作品に興味を持ち、関心を持って作品を見せてもらおう。

お子さんの場合なら、「すごいねー」とか「おもしろいねー」など声かけしたり、「どんな風に作ったの?」「これは何かな?」などと質問します（大人でもあまり変わりませんが）。そうすると、当人が作品につい

て思ったことを話してくれます。見守り手は聞き役に徹して、作者の言葉や表情、態度を共感を持って受け止め、聴くことが大切です。無理に話を引き出すことはありませんし、作者の作品や言葉にコメントを出す必要もありません。

安心空間で自由に作られた作品には、作者の内面が象徴的な形で表現されています。回を重ねて少しずつ言語化していくことが大事で、そうすることで日常生活が自然と活性化していきます。

— 箱庭と言えば心理を分析するイメージがあるのですが。

専門家は、確かに分析しますが、それというのも、作られた作品を作者とともに深いところで味わうことを大切にするためです。作品は本来作者のもので、本当の意味はご本人が受け止め、自己実現していけるものですからね。

— この度、小学校・中学校『教材整備指針』の特別支援教育枠に、箱庭が加えられたのですが、学校などで心理の専門でない方が使う場合の留意点などありますか。

箱庭を作る時間は学ぶ時間ではなく、自分を表現して遊ぶ時間ですので、やりたくない時には強要しないことが大切です。また、作品を作り出しても手が止まったり、出来上がった作品が、例えば芋虫を一個置いただけで終わっても、関心を持って見守り、その状況や作品を受け止める言葉かけをしてあげるといいでしょう。

箱庭の時間は、最初にルール（砂を箱の外に出さない、時間を守るなど）を設定するだけで、あとは、お子さんが自由に表現するのを見守り、楽しく受け止めていくこ

とだと思います。

もしも対応に困難を感じた場合は、スクールカウンセラーや専門家に必ず相談されることをお勧めします。

学校は心理療法の場ではありません。心理療法として扱うなら、専門的な知識と研修やトレーニングが必要です。

— 学校ですと、グループで作品を作ることもあるかと思いますが、どのような方法がありますか。

複数で一つの作品作りをする時は、テーマ（『夏休み』『行きたいところ』など）を決めた方が、協力関係やコミュニケーションが活性化します。メンバーによって、作品作りに時間が掛かりそうな場合は、「おもちゃは一人3個まで」などのルールを作り、時間管理がしやすいようにしておくことも大切です。

— 最後に、先生からのメッセージを。

箱庭での表現を楽しいものにしていくために、案内役兼見守り手は大切な役割を担っています。

見守り手をされようと思う方は、まずご自身が箱庭を置いてみることをお勧めします。初めて作るときのドキドキ感、「面白い」「これはいいぞ」と変化する様々な心の動きや楽しい感触、作品を作った後の満足感を実感していることは大切です。また、実際に箱庭を置いてみると、かなり心のエネルギーを使いますので、それに気付いていることも大事ですね。

先生が楽しんでいると、子ども達も「なに？なに？」と必ず興味を持ってくれると思います。

学校での箱庭活用を知るなら、この1冊。

月刊学校教育相談 2011年8月号 (特大号定価 920円)

特集2：箱庭を子どもの心を開くきっかけに

小学校から高校まで、学校現場で箱庭を活用されている先生方8人が、ご自身の体験と事例について語られた特集です。現場の生き生きとした雰囲気を知ることができる、オススメの1冊。

発行元：ほんの森出版 <http://www.honnomori.co.jp>

※ 弊社でも取り扱い可能です。お気軽にお問い合わせ下さい。



「2013 箱庭用具カタログ」掲載

学校での初期導入に適した内容と価格帯のセットです。



用具のみ

ZM 21 メルコム学校向け導入セット〈100点〉 ¥50,000 (本体価格¥47,619)

家族人形セット (9) / 戦争セット (24) / 動物S (24) / 恐竜M (1) / 恐竜S (4) / ミニハウス (9) / 洋風かやぶき家 (1) / 水車小屋 (1) / 針葉樹 (12) / 常緑樹 (3) / 牧場の柵 (5) / 茶色い橋 (1) / 川舟 (2) / 乗り物 (4)



お子さんの使用頻度が高いミニチュアを含めた、お手ごろ価格のセットです。お手持ちの人形などを加えたり、ご予算に合わせて買い足すことで、充実した内容になります。

砂箱と砂をあわせて購入すると…



¥82,550
(本体価格¥78,619)

「2013 箱庭用具カタログ」掲載

初めて箱庭を導入する際に、最低限必要な用具を揃えました。



用具のみ

ST 22 メルコム箱庭スターターセット〈196点〉 ¥94,500 (本体価格¥90,000)

家族人形セット (9) / ワールド人形セット (36) / 海辺の動物セット (13) / 身近な生き物セット (13) / クッキーハウス (1) / 洋風家屋 (1) / 教会 (1) / 広葉樹 (4) / 紅葉樹 (4) / 針葉樹 (12) / ポットフラワー (8) / 植え込み (4) / 切り株 (3) / 火山 (1) / 波 (1) / 牧場の柵 (5) / 丸太橋 (1) / テレビ塔 (1) / ベンチ (2) / 宝物 (60) / テトラポット (3) / 灯台 (1) / マリア像 (1) / 神社 (1) / 鳥居 (1) / 男の妖怪 (1) / 女の妖怪 (1) / ヨット (1) / ポート (1) / 乗り物 (4) / 記録用紙 (100 枚)



カウンセリングルームや病院など、心理療法を行う機関で初めて箱庭を導入する際に、最低限必要と思われる用具を揃えました。「初めてだから、どれを選んだらいいかわからない」そんな方にぴったりです。

砂箱と砂をあわせて購入すると…



¥127,050
(本体価格¥121,000)

感情表現（表情シリーズ）

非言語で自分の感情を表現できる。

表情ポスター

40種類の表情が描かれた、A1サイズのポスター。
掲載ページ：P12

表情シート

20種類の表情を記載したA4サイズのシート。集団活動に適しています。
掲載ページ：P14

表情シール

ノートやワークシートに貼れるシールです。表情は10種類。
掲載ページ：P16

表情カード

45種類の表情が描かれたカード教材。個別対応に最適。
掲載ページ：P13

表情マグネット

表情シートに対応した、黒板などに貼れるマグネットシートです。
掲載ページ：P15

活用 場面

ソーシャルスキル （SSTシリーズ）

ソーシャルスキルを楽しく学ぶ。

SST 2択展開カード 「このあとどうなるの？」

3枚一組の絵カードで、行動を選択する力、実践する力を身につける。
掲載ページ：P20

SST カード

紙芝居形式の絵カードで、ソーシャルスキルの基本から応用まで。
掲載ページ：P17

SST ボードゲーム 「なかよしチャレンジ」

すどころ形式のゲームをしながら、ソーシャルスキルを身につける。低学年向け。
掲載ページ：P18

SST ボードゲーム 「フレンドシップアドベンチャー」

すどころ形式のゲームをしながら、ソーシャルスキルを身につける。高学年、中学生向け。
掲載ページ：P19

SST DVD 教材 「トラブルは成長のチャンス」

SSTボードゲームの活用法、介入方法を解説した、指導者向け教則DVD。
掲載ページ：P29

DVD

指導者向け

ちょこっとチャット

子育て支援の現場から生まれたカードゲーム。話しやすい雰囲気作りに役立ちます。
掲載ページ：P22



コミュニケーションゲーム

アイスブレイキングやコミュニケーションの活性化に。

アンゲーム

自己表現が苦手でも、カードの質問に答える形で気軽に話しを始めることができます。
掲載ページ：P23



ワクワク!算数らんど

「考える力」を伸ばし、文章問題に強くなる。発達心理に基づいた算数の教科教材です。
掲載ページ：P24



掲載ツールの特徴を元に、活用場面別に集めました。

MAP

ことばのいずみシリーズ「Wプログラム」

LD児の苦手な特殊音節の習得を中心とした、ひらがなの読み書き教育プログラム。
掲載ページ：P26



サイコロジゲーム

スクールカウンセリングに特化したボードゲーム。
掲載ページ：P28



ことばのいずみシリーズ「Lプログラム」

LD児の語彙力・認知能力を高める訓練プログラムキット。
掲載ページ：P27



ことばのいずみシリーズ「語のカテゴリー化テスト」

「Lプログラム」に対応した、オリジナルの評価テスト。
掲載ページ：P27



トレーニング

基礎学習能力を高める。

箱庭用具「メルコム」

20年の実績を持つ、箱庭用具。豊富な品揃えが、豊かで奥深い表現を可能にします。掲載ページ：P8



教材

映像教材。



箱庭DVD教材「箱庭療法の実践」

箱庭のセッティングからケースの実際まで、映像でわかりやすく解説。掲載ページ：P29

カウンセリング

カウンセリングの現場で。

表情シリーズ

非言語で自分の感情を表現できる、直感的ツール。

子ども達が自分の感情を言葉で表現したくても、なかなか難しい場合があります。感情が高ぶっている場合などはなおさらです。そんな時、「今の気持ちをこの中から選んでごらん？」と問いかけてみてください。そこからコミュニケーションを始めることができます。

表情シリーズは、とてもシンプルな表情が表記されています。簡単な気持ちのモニタリングに、また自分

の気持ちや相手の気持ちを、言葉を使わず表現するツールとして、様々な場面で活用されています。

ポスターやカードなど数種類を用意していますので、使用場面によって使い分けをすることができます。

使用例

感情のモニタリングに・子どもの感情表現に・授業や集団活動の前後の感情表現に

表情ポスター

40種類の表情が描かれた、A1サイズのポスターです。説明書には、それぞれの表情があらわす気持ちの目安を記載し、モニタリングしやすくなっています。教室やカウンセリングルームに掲示してお使いください。（職員室や校長室に貼って活用している学校もあります。）

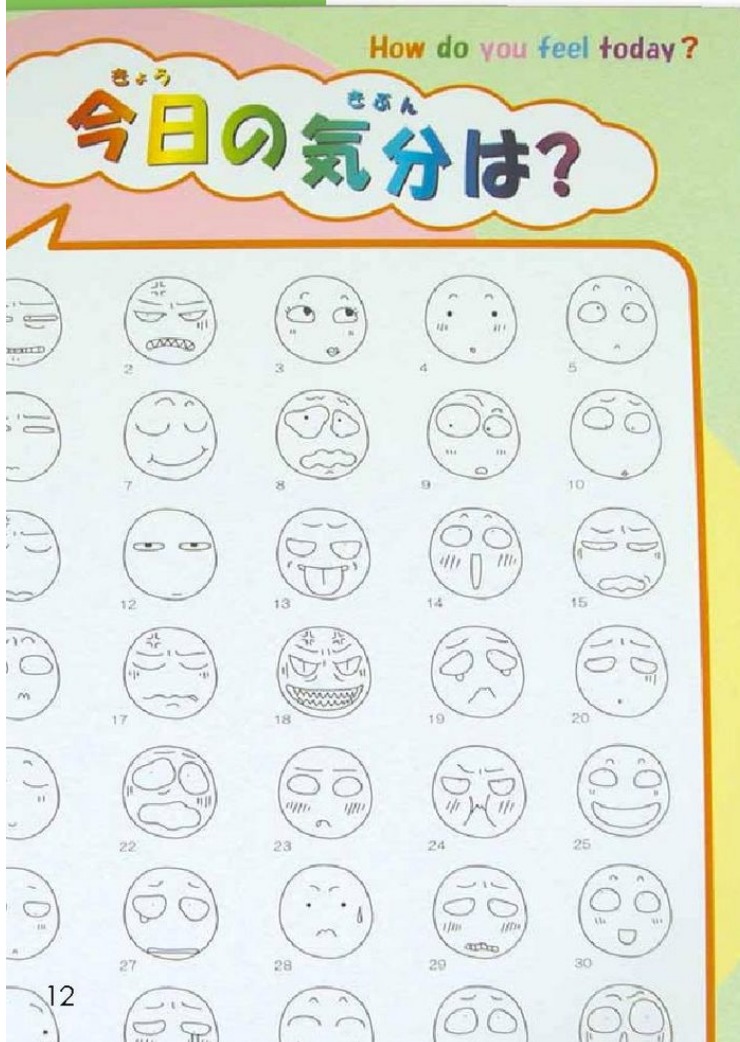


¥2,100 (税込)

A1ポスター1枚
説明書（使用例付）

寸法/ポスター：594×841mm

監修：本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
著者：本田 恵子・鈴木 眞理（臨床心理士）



使い方

毎日の気持ちのモニタリングに使ったり、気持ちがうまく言葉にならない時に、ポスターを指差してもらうことができます。また、かっとなってしまったり、暴力をふるってしまった時に、その前後はどうだったのか指差してもらうことで、気持ちの変化を振り返ることができます。場面ごとの気持ちとその変化を聞いていくことで、子どもの感情を言語化へ導きます。

活用場面

●教室に貼り、登校時の子どもとのコミュニケーションに。●放課後、一日の振り返りの時間に。●道徳や総合学習での感情教育、友達作りの時間に。●職員室や保健室などに貼り、子どもとのコミュニケーションに。

こんな使い方も…

子ども部屋にポスターを貼り、子どもが落ち込んでいる時などの会話のきっかけづくりや、子どもの気持ちの整理に使っているお母さんもらっしゃいます。

表情カード

45種類の表情が記載された、表情ポスターのカード版です。おもて面には表情のみ、裏面には表情と、その表情があらわす気持ちの目安が記載されています。カードの1枚ずつに異なる表情が描かれており、また、カード形式でサイズも小さく、個別での対応に適しています。多くの表情の中から一つを選ぶのが難しい場合には、感情のカテゴリー別に数枚を選び、2択、3択で今の気持ちを選んでもらうこともできます。

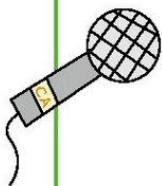
使い方

基本的な使い方は、「表情ポスター」と同じです。こちらはカード形式ですので、今の気持ちのカードを何枚か選んで並べたり、カードを並べ替えることによって、気持ちの変化を視覚的に理解することもできます。

また、グループ活動として、それぞれのカードの気持ちになった時のエピソードを話し合ったり、相手が悲しい気持ちや怒っている気持ちの時には、どういう表情で答えてあげるといいのかなどを話し合うこともできます。

こんな使い方も…

- カードの顔まねをしながらアイスブレイキング、緊張をほぐします。
- カルタ形式にして、引いたカードの表情に合ったセリフをつけることで、自己理解を深めます。



わたしは、最近自分の気持ちがわからない子どもが増えているような気がします。感情の分化が上手になされていないので、気持ちを言葉にするのが苦手、また表現する言葉がわからないように感じています。

を考慮する事ができました。

わたしは、最近自分の気持ちがわからない子どもが増えているような気がします。感情の分化が上手になされていないので、気持ちを言葉にするのが苦手、また表現する言葉がわからないように感じています。

登校しづりがある子に、表情ポスターを使いました。学校の何がいやなのか、今・朝・昨日の夜、と場面を区切って気持ちを整理していくことにしました。そうすると、その子は1時間目が一番緊張するということがわかりました。緊張するとトイレに行きたくなってしまう、それが心配の種類になつていました。それから、どうしたらよいかと解決策を出し、その子は少し落ち着けたようでした。登校しづりがなくなつたわけではないのだけれど、気持ちを整理し何がイヤだったのか原因がわかったことで、良い手立てを考慮する事ができました。

インタビューに答えてくださったのは、中学校カウンセラーさんです。

インタビュー してきました。

表情ポスター



活用場面

● スクールカウンセリングや特別支援の個別指導の際のコミュニケーションに。



¥2,940 (税込)

表情カード 45枚
説明書 (使用例付)
寸法 / カード: 90 × 120mm
外箱: 101 × 131 × 38mm

監修: 本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者: 本田 恵子・鈴木 真理 (臨床心理士)

表情シート

A4サイズのシートに表情が20種類。「表情ポスター」の40の表情から、子ども達が日常的によく使う20の表情を選びました。手で使用できる大きさで、また、同じシートが10枚セットで入っていますので、グループでの使用に適しています。使用時に配布して、使い終わったら回収すると、何回も使用できます。

表面の凹凸加工は、指でなぞって触感を楽しんだり、上から紙を敷いて、鉛筆で表情が浮かび上がらせることもできます。

使い方

一人ひとりにシートを配布することで、教室での様々な活動後の振り返りで自分の気持ちをモニタリングしたり、それぞれの表情に自分なりのネーミングをして、気持ちを表現する言葉を増やすことができます。また、グループでの話し合いに活用する場合は、ひとつの表情を選んで、それぞれがそういう気持ちになるときのエピソードを話し合ったり、そういう時は、どうしてほしいかを聞き合ったりすることもできます。

活用場面

●道徳や総合学習の感情教育、友達作りの時間における集団学習の際に。

こんな使い方も…

ある幼稚園では、シートの中から子どもに表情を選んでもらい、その顔を子ども自身が紙に描いたあと、体や手足を書き足す遊びをしています。



¥3,990 (税込)

A4表情シート10枚
説明書 (使用例付)

寸法/シート 210×297mm
外箱: 227×315×10mm

監修: 本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者: 本田 恵子・鈴木 真理 (臨床心理士)

インタビュー してきました。

表情シート

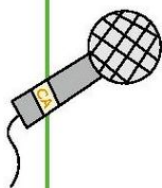
インタビューに答えてくださったのは、元小学校の先生です。

作文を書くときに、表情シートを使ってみました。

いきなり書き出せない子には、シートを使って「昨日の夜はどんな気持ちだった?」と聞き、そこから何があったのか、おしゃべりをします。そうすると、書く内容がたくさん思い出されるので、作文を書く際にスムーズに書き始めることができました。

また、出来事だけを羅列したような作文を書いている子には、その時感じたことを盛り込んで、内容を深めてもらいたいと思い、文を書いている途中で表情シートを使って、「これをやったときはどんな気持ちだったの?」というふうに五感で感じたことを引き出すきっかけにしています。

表情カードをもとに作文づくりをしても面白いかもしれませんね。



表情マグネット

「表情シート」のひとつひとつの表情を、黒板などに貼れるマグネットシートにしました。1枚が19×19cmとサイズが大きいので遠くからでも見やすく、教室などの広い場所で使用するのに適しています。主に指導者向けです。

20の表情は「表情シート」に記載されているものと完全対応していますので、指導者は表情のマグネットを黒板に貼り、子どもは表情シートを手元で見ながらワークを進めることができます。

使い方

「表情シート」(別売り)を子どもに配布し、ひとつひとつの表情について話し合いを行います。その時間のトピックにしたい表情マグネットを黒板に貼り、連動して使用します。また、3枚～5枚のシートを黒板に貼り、その変化(感情の分化)についての学習を集団で進めることができます。

活用場面

●道徳や総合学習での感情教育、友達作りの時間における集団学習の際の指導者用として。●集団学習や個別学習における子どもの感情の発表用として。



表情シリーズ関連書籍



キレやすい子の理解と対応
学校でのアンガーマネジメント・プログラム
著者 本田 恵子

1,890円 (税込)
ほんの森出版

表情シリーズ使用のポイント

感情の分化を促すには

自分のもやもやした気持ちを表現するには、その時点の自分の感情を整理し、それがなぜ生じたのか理解することが大切です。

子どもが、感情を表現するのが苦手だったり、興奮して自分の気持ちを的確に表現できなくなった場合、今の気持ちを表情シリーズに表記されている表情の中から選んでもらいます。今の気持ちを選んだ後に「どうしてこの気持ちになったの?」と問いかけることで、子ども自身が今の気持ちを自分で確認し、自分の気持ちについて考える機会を作ることができます。なぜそのような気持ちになったのか、感情の変化を具体例を挙げて説明するよう促し、子どもが自分なりの言葉で感情を表現できるよう助けます。

表情シール

表情シールには、10種類の表情を2つのシートに分けて印刷してあります。シート①の「イラッとシート」はネガティブな感情を中心に、シート②の「ほっとシート」は、ポジティブな感情を中心に構成し、表情を選びやすくしました。

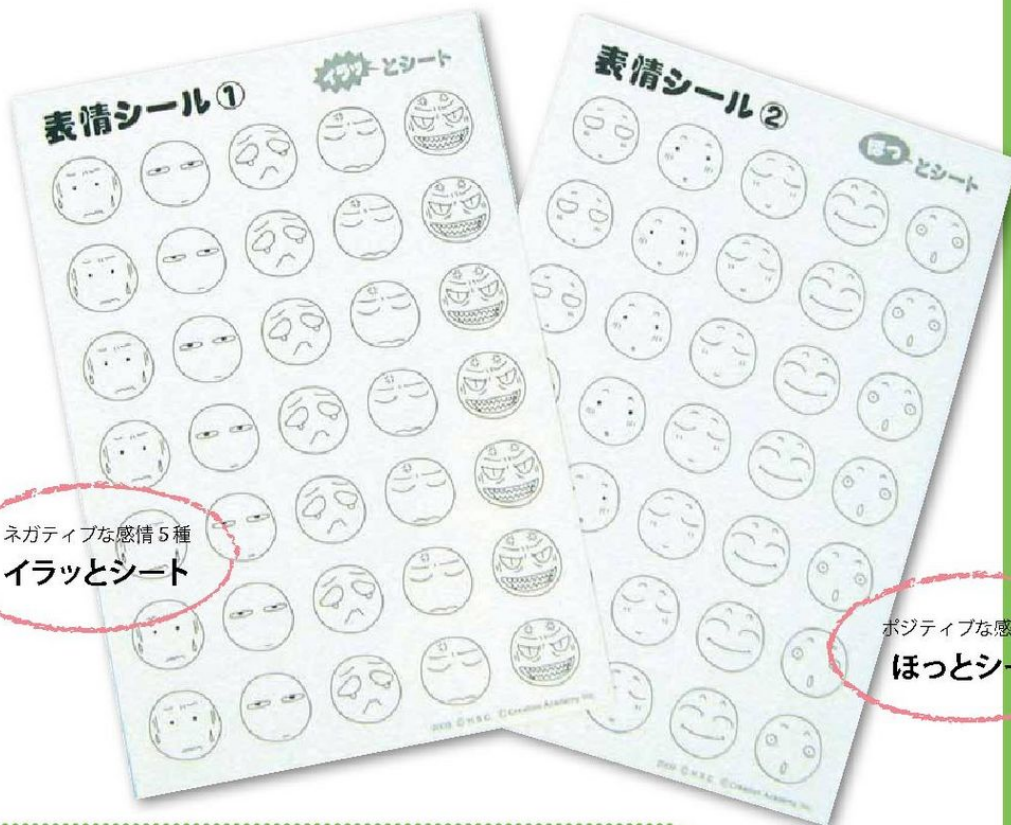
感情を文章で表現するのが苦手な子どもや、絵を描くことに抵抗のある子どもでも、シールを貼ることで自分の感情を表現することができます。

使い方

基本的な使い方は、「表情ポスター（P10 参照）」と同じですが、ノートや振り返りシート、日記などに貼ることができるので、時間が経過しても残しておくことができます。活動の前と後など、リアルタイムで記録した気持ちを、後で振り返るということが容易です。

活用場面

●活動の前後の気持ちのモニタリングに。●放課後、一日の振り返りの時間に。●日誌や日記に貼って。



ネガティブな感情5種
イラッとシート

ポジティブな感情5種
ほっとシート

今日の気分は？

※気分は変化する、何となく不安な時は？
※気分は変化する、何となく不安な時は？

午前	午後	帰宅後



教室で使える記録用の用紙（左図）が、ホームページからダウンロードできます。

<http://meltcom.co.jp>



実物大

¥610（税込）

表情シール 10枚
シール①イラッとシート 5枚
シール②ほっとシート 5枚
説明書（使用例付）

寸法/シール：100×148mm
パッケージ：110×152×2mm

監修：本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
鈴村 真理（臨床心理士）

SSTシリーズ

ソーシャル
スキル
トレーニング

改訂特別支援学校学習指導要領
「人間関係の形成」に対応

イラストやゲームを使って、楽しく学べるSST。

ソーシャルスキルトレーニング（SST）は、子どもの発達段階に応じたトレーニングと、継続的な活動が不可欠といわれています。

SSTシリーズは、子どもの年齢や、必要とするスキルに応じて、楽しくトレーニングできるよう工夫されています。

「SSTカード」では、まず自分を大切にするセルフエ

スティームから段階的にスタートし、最終的には、より良いグループ作りを目指します。「SSTボードゲーム」では、子ども達が遊びながら継続的なトレーニングを出来るように作られています。

まずは、子どもにどのスキルが必要なのかを先生や保護者の方が見立て、その段階にあったツールを使用すると、より効果的です。

SSTカード

日常よく見かける場面を描いたカードを使い、ソーシャルスキルの5つの項目を段階的に学んでいきます。それぞれのテーマごとに10枚の場面カードが入っていますので、場面別に使用することが可能です。先生や保護者の方が、これを紙芝居のように子どもに見せ、「これはどんな場面かな？」と問いかけてみてください。子ども達からは様々な意見が出るでしょう。これらを受け入れた上で、場面カードが示しているテーマを子どもに伝えます。裏面にはテーマの詳細な説明が書いてありますので、子ども達はもちろんの事、指導者側もソーシャルスキルの基本を学ぶ事ができます。



¥8,400（税込）

参加人数：2名～6名位（個別での使用も可）
A4カード55枚・説明書（使用例付）
寸法/カード：210×297mm
外箱：240×328×35mm

監修：本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
著者：本田 恵子・鈴村 眞理（臨床心理士）

使い方

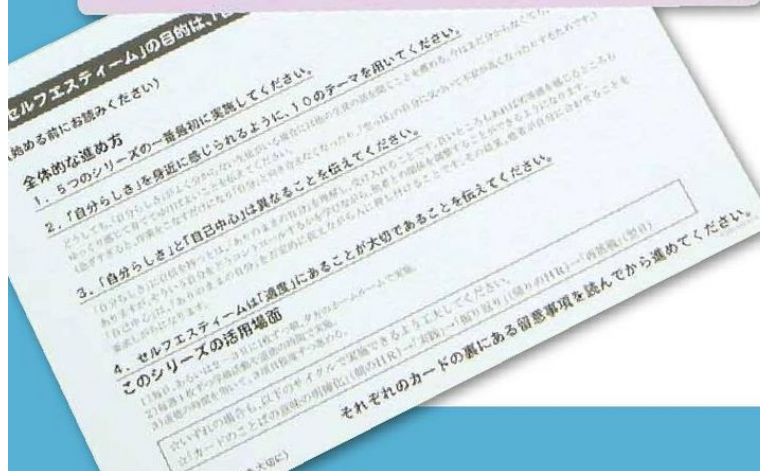
場面カードを子どもに掲示し、「何が描かれているか」「どんな気持ちか」「この前に何があったか」「この後どうなるだろう」などについて、様々な意見を拾います。この時、育てたいソーシャルスキルにターゲットをあてて、意見を引き出していきます。広い教室の場合は、拡大機等を使用すると集中力が高まります。皆が意見を出し終わったところで、場面カードの趣旨を説明し、場面に関係する活動を展開していきます。場面カードの裏面に基づいて場面カードの内容を伝え、深めていきます。

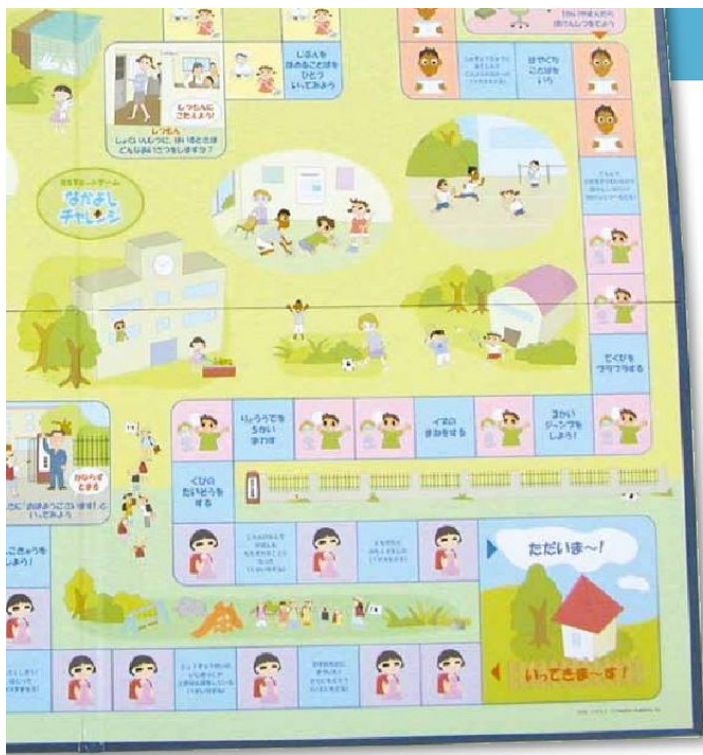
活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。

SSTカード 5つのテーマ

セルフエスティーム
ストレスマネジメント
友達の作り方
対立の解消
上手なグループ活動の進め方





SSTボードゲーム なかよしチャレンジ

カラフルなボード盤を使ってソーシャルスキルを学びます。学校への行き帰りをテーマにしており、サイコロを振ってマスを進み、イベントをクリアしていく形式はすざろくそのもの。イベントの多くは質問カードに答えることで、質問内容は「学校で起こる問題」ですので、子ども達は遊びの中でソーシャルスキルトレーニングを進めることができます。

「なかよしチャレンジ」は、質問カードの答えのほとんどが3択になっています。そのため、子どもから何らかの回答を導き出すことができるのが最大の特徴です。また、質問カードは難易度別に分かれていますので、子どもの発達段階に合わせてカードをチョイスしてください。

使い方

朝のSHRで数枚のカードについて皆で答えを考えたり、5～6名のグループに分かれてボードを用いてゲームを進めることができます。質問カードは学年別・学校の場面別に分かれていますので、これらを組み合わせることで、子どもの発達度合いに応じた使用が可能です。正解を覚えるのではなく、「これをやったらどうなるだろう？」という想像や考える力を育てることが目的なので、活動中に指導者が介入していくことが大切です。

¥8,400 (税込)

参加人数：2名～6名 (個別での使用も可)
ボード版1セット (パズルタイプ)・質問カード 200枚
コマ6個・サイコロ1個・解説書
寸法 / ボード: 400 × 573mm 外箱: 220 × 320 × 50mm

監修：本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者：本田 恵子・鈴木 眞理 (臨床心理士)

カード質問例

ななみちゃんは知らない人に道案内をたのまれました。どうしたらいいですか？

- ①わかれば、その場で道を教えてあげる
- ②だまっていける
- ③その人の行きたい所までつれて行ってあげる

かけざんの九九を言いまちがえたら、友だちがばかにしました。くやしくてたまりません。どうしますか？

- ①しんごきゅうして落ち着く
- ②その子に「おまえだってまちがえたじゃん」と言い返す
- ③できるようになった自分をイメージする

かず君は、そうじ中に遊びに行ってしまう。同じはんの子が、もんくを言い始めました。どうしたらいいでしょうか？

- ①みんなも遊びにさそう
- ②あやまる
- ③みんなの話を聞く

黒板に男の子たちが、教室にいない友達の名を書いています。どうしたらいいですか？

- ①黒板消しで消す
- ②「いやな気持ちがあるから、やめてください」と言う
- ③見えないところに行く

みずずちゃんは、サッカーがしたいのに「女はダメ!」と入れてくれません。どうしたらいいですか？

- ①入れてくれそうなにたのむ
- ②そばで見ながらおうえんする
- ③わりやり入る

青いマスの部分はマスに書いてある指示に従ってください。



スタート・ゴール位置です。家からスタートして学校へ行き、戻ってきます。サイコロを振って、出た目の数だけ進みます。

カード置き場です。同じ絵柄のカードを置きます。

絵の描いてあるマスは同じ絵柄のカードを引いて質問に答えます。

活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。

カードに含まれる
ソーシャル
スキル

ストレスマネジメント
助けを求める
アサーション
対立解消

SSTボードゲーム フレンドシップアドベンチャー

ボード盤には5つの島が描かれています。それぞれの島にはソーシャルスキルのテーマが設定されています。島を1周すると宝物がもらえるようになっており、子ども達は質問カードに答えながら島巡りをして宝物を集めます。

「なかよしチャレンジ」と異なり、こちらは自分の気持ちや意見を述べる形になっています。単なるノウハウではなく、自分の意見、他者の意見をグループになって共有することで、ソーシャルスキルトレーニングを進めていきます。



¥8,400 (税込)

参加人数：2名～6名 (個別での使用も可)

ボード版1セット (パズルタイプ)・質問カード 200枚
コマ6個・サイコロ1個・宝物5色6個ずつ・解説書

寸法/ボード：400×573mm 外箱：220×320×50mm

監修：本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)

著者：石川 令子 (臨床心理士)・熊本 エリザ (臨床心理士)

使い方

朝や帰りの会などで皆で質問の答えを考えたり、なぜそういう事態が起きるのか、その背景を話し合うことができます。道徳や総合学習などの時間に5～6名のグループを作ってゲームを進めることもできます。解答が無いので、答えが言いつばなしにならないように、ワークシートなどを活用するなど、工夫してください (自分の意見への感想を聞く、もしそれを実行したらどうなるかを皆で考えるなど)。普段は照れくさくてなかなか話せない「自分」について語る質問カードも盛り込まれており、ゲームを通して、子どもの自己理解や他者理解が促進されます。

質問カードは学校での内容が中心ですが、大人にも大切なソーシャルスキルのエッセンスが盛り込まれていますので、使用するカードを選ぶことで、大人のグループワークに使用することもできます。



カード質問例

休み時間に先輩に「タバコを買ってこい」と言われました。どう断りますか。

しばらく口をきいていなかった友達がいっしょに帰ろうと言いました。何と答えますか。

10年後あなたはどんな大人になりたいですか。

「クラブ (部) 活動がおもしろくないからやめたいな」と思っても最後までやり通すためにはどうしたらよいでしょうか。

わからなかった問題が解けるようになった時の事を話してください。

活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。

カードに含まれるソーシャルスキル

オリジナリティ 勇気を出そう
 尊重し合おう ストレス耐性
 自信を持とう





SST2択展開カード このあとどうなるの？

子ども達の日常で起りがちなトラブル場面（15シーン）が描かれた「問題提起カード」と、2通りの解決法が描かれた「選択カード」の3枚一組で進める SST 教材です。

トラブルの場面カードを子どもに見せ、その解決となる2通りの絵カードから1枚を選んでもらいます。一方は好ましい解決方法、もうひとつは好ましくない解決方法です。当たり前外れではなく、「この選択をしたらどうなるだろう」「好ましい解決をするためにはどうすればいいのだろう？」ということ、子ども自身が選択し、考えることができます。

また、75面に及ぶ場面カードには文字情報などは記載されていませんので、そこに描かれている状況や登場人物の感情を読み取るトレーニングにも活用することができます。

使い方

このツールを使ったトレーニングは、単に好ましい行動を促すためではありません。むしろ好ましくない選択をした場合に、その子にどんな感情や思考が働いているか観察し、好ましい解決につなげるためには、子どもにどのように働きかけたらよいかを心がけてください。

応用編としては、場面カードの1枚を選んで、その絵の中でどのような事が起こっているのか話し合うことで、登場人物の表情や人間関係を推し量る、他者感情の認知トレーニングにも使えます。

活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。



問題提起カード
トラブルの場面が描かれています。
(裏面は詳細解説)

トラブルの状況を見て行動を選択します。



好ましい行動



好ましくない行動

選択カード
トラブルの解決方法を2枚のカードから選びます。

選択したカードを裏返します。



好ましい行動の結果



好ましくない行動の結果

選択カードの裏面
選んだ解決方法の結果が描かれています。



¥8,400 (税込)

参加人数：2名～6名位（個別での使用も可）
A5カード4.5枚（ファイル入り）・説明書（使用例付）
寸法/カード：210×149mm
外箱：180×222×25mm

監修：本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
著者：本田 恵子・鈴木 眞理（臨床心理士）

シーンに含まれる
ソーシャル
スキル

ストレスマネジメント
助けを求める
アサーション
対立解消

SST キーワード解説

※ SST シリーズの説明書より抜粋

ソーシャルスキル

日常生活や集団生活を心地よく過ごすために必要な気持ちの持ち方やスキルのことです。ストレス耐性やセルフエスティーム（自分を大切にできる気持ち）が基本となり、次に友達作りやトラブル時の対立解消の力を育て、みんなが大切にされるグループ活動を目指します。

ストレス耐性

「不快」な刺激があっても感情をコントロールできる力のことです。これは不快な状態に対処できる感情がどのくらい発達しているかに影響されます。

ストレスマネジメント

ストレスマネジメントは、自分の不安やさまざまな感情を上手にコントロールする力です。新しい出来事に対して興味を持ったり、挑戦してみたりする時に必要になります。また、対人関係を進めていく上では、自己中心的思考から脱するときにも必要になる力です。

アサーション

自分も相手も大切にしながら自己主張する方法です。相手を尊重しながら、素直に自分の意見や考えを相手に伝えます。これに対し、相手を大切にしない「攻撃的な主張」や、自分を大切にしないで相手に従ってしまう「非主張」があります。

セルフエスティーム

自分らしさに自信を持ち、ありのままの自分を大切にできる力です。ほどよいセルフエスティームを育てるにはどうしたらよいかを学びます。

インタビュー

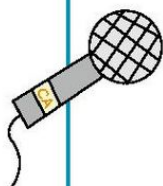
してきました。

フレンドシップ アドベンチャー

インタビューに答えてくださったのは、
中学校のカウンセラーさんです。

これは問題行動のある不登校男子と相談室で行ないました。まずは「ストレスに強くなるう」というテーマで質問に答えていったり、自分のことについて話したりしました。そうしていくうちに、自己理解が進んだのでしようね、自分から「俺ってキレイやすいのかも」と言ったんです。今までどちらかというと、人の不満を言うことが多かったのが、驚きました。ゲームのなかで、話を聞いたり、話したあとはとても楽しそうでした。

友達関係を築くのが苦手な女の子とも行いました。その子は実際の人間関係の中では難しくても、ゲームの中では質問に對して的確に答え、自己実現しているようでした。ゲームの最中にはいきいきとしていたので、ゲームを通して一対一の時間も楽しんでいるように見えました。



SST シリーズ関連書籍・関連商品



**キレやすい子への
ソーシャルスキル教育**
教室でできるワーク集と実践例
著者 本田 恵子
2,310円(税込)
ほんの森出版



SST DVD 教材
トラブルは成長のチャンス
教室でできるワーク集と実践例
監修 本田 恵子・鈴木 眞理
7,140円(税込)
P29に掲載

表情シリーズ・SST シリーズ ワクワク!算数らんど 監修者

本田恵子 (早稲田大学教育学部教授、Ed.D)

ニューヨークのコロンビア大学で教育学博士号を取得。

フィールドワークを重視し、取り扱う事案は、心理カウンセリングから学校の危機管理、危機介入方法、さらにMI(多角的知能)理論を用いた教育や矯正教育まで多岐に渡る。2001年からは、教育者、カウンセラーの専門家集団「HSC(包括的スクールカウンセリング研究会)」を組織し、その代表を務める。

現在は、早稲田大学で教鞭を取りながら、全国規模で講演や研修を行うなど、超多忙な毎日を送っている。著書も多数。

現場からのニーズを元に、多数の教材の監修をいただいております。

ちょこっとチャット

ちょこっとチャットはその名のとおりに「ちょっとしたおしゃべり」の時にとても便利な質問カードです。カードの質問に答えるだけの簡単なゲームですが、参加者の気持ちをほぐし、話しやすい雰囲気作り役に立ちます。カードに対して無理に答える必要はなく、また誰かが答えている時には黙って聴いてあげることで、自然と安心空間が生まれ、とても自己表現しやすくなります。

現在発売されているバージョンは子どもを持つ保護者向けで、主に子育てや家族に関する質問が100種類入っています。



¥1,470 (税込)

質問カード 100枚
説明書 (使用例付)

寸法 / カード: 58 × 89mm
外箱: 93 × 124 × 27mm
(タグ 30mm)

監修: 高山恵子 (NPO法人えじそんくらぶ代表)

使い方

- 質問カードを引いた人が質問に答え、他の人は聴いています。「何も話さないけれど、受け入れられている感じ」を味わうことができます。
- 質問カードに参加者全員が答えます。それぞれの違いや共通点を見つけ、「自分を客観的に見る」「他人と理解しあう」空間を味わうことができます。
- 引いた人が質問に答え、その発言についてみんなでも自由にコミュニケーションします。自由に話す中で、「自分のパターン」「どんなとき自然に話せるか」など、自分を知ることができます。

活用場面

保護者会・懇談会・親の会・カウンセリング・グループワーク・研修会 など



カード質問例

- ・子どもがいて幸せだなと感じる時はどんな時ですか？
- ・パートナーはあなたの話をよく聞いてくれますか？
- ・「子育て」という言葉で連想することを2つ教えてください。
- ・あなたにとって「理想の夫婦」とは？
- ・結婚後、自分が変わったと思いますか？それはどんなところでですか？
- ・パートナーと「子育て」に関して考え方が違うと感じるのはどんなときですか？

関連書籍



育てにくい子に悩む
保護者サポートブック
保護者にできること
監修 高山恵子
1,575円 (税込)
学習研究社

インタビュー してきました。

アンゲーム

インタビューに答えてくださったのは、中学校のスクールカウンセラーさんです。

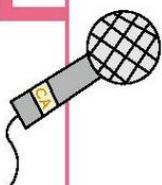
私はアンゲームの大ファンで、学校でのカウンセリングや、グループワークによくこのゲームを使っています。

ゲームのルールの中に、「人が話しているときは黙っている」というのがあります。子どもとゲームを行う場合は、ある程度信頼関係ができてからにしていますが、話を聞いてもらえない安心感があるので、私が質問しなくても、質問カードを介して、子どもの家族構成や背景が自然と見えるようになってきます。

また、教員同志で行った時も、緊張が和らぎ、場の雰囲気が良くなってきましたので、大人同士のアイスブレイキングにも最適でした。

子どもも大人も、人の話をじっくり聞けるようになり、そうなるに相手の発言にコメントをしたいと思います。自分の考えをまとめられるようになるのも、このゲームの特色のひとつだと思います。

ゲーム終了後は、必ず簡単なシェアリングをします。やってみた感想を聞く事が、次へのコミュニケーション作りのために大切だと思います。



アンゲーム

アンゲームは、アメリカで300万以上の数を販売している定番の自己表現ゲームの日本語版です。もともとは一般のゲームなのですが、その自己表現性から、セラピーや学校現場におけるツールとしても活用されてきました。どこへでも持ち運びが出来ますので、学校を掛け持ちされているカウンセラーの方や、家族で旅行の際に使うゲームにも適しています。年齢や人間関係に対応した各バージョンがありますので、使用場面によって使い分けが可能です。

使い方

カードは、「パート1」と「パート2」に分かれています。「パート1」は、初めての人でも答えやすい質問、「パート2」は、より深い質問が書かれていますので、「パート1」から使用して、ゲームに慣れてから「パート2」を使うようにしてください。

【カウンセリングに】

コミュニケーションの活性化をゲーム形式で行うことができます。アイスブレイキングや自己開示を行う場合には、他者からの問いかけよりもカードの質問に対する方が答えやすい場合があります。

【職員同士のコミュニケーションに】

日々の業務に追われ、どうしても職員同士のコミュニケーションが希薄になりがちです。アンゲームを行うことでチームとしての活性化を図ることができます。

【中学校の国語の時間】

生徒が質問カードを引き、その内容について1分間スピーチを行います。スピーチの内容はカードが指示しますので、スピーチする動機付けができます。

活用場面

学級活動・カウンセリング・特別支援教育・学童保育・適応指導教室・即興スピーチ・アイスブレイキング・新クラスの交流時に・ゼミ合宿・グループワーク・職場でのコミュニケーションの活性化など



全年齢向け・子ども向け
ティーン向け・家族向け
カップル向け

アンゲーム ポケットサイズ版
各¥1,890 (税込)

質問カード140枚・説明書
寸法/カード: 45 × 80mm

カード質問例

全年齢向け

Part 1

- ・自分を色にとえると何色だと思う? 理由も教えて。
- ・一日24時間が30時間が増えたらその時間をどうやって使いたいと思う?

Part 2

- ・次の分を完成させてください。「私が一番さびしいと思うときは…」
- ・「遂に達成したぞ!」と充実感を味わったときのことを教えてください。

子ども向け

Part 1

- ・友だちから無視されたら、どんな気分になると思う?
- ・ワカナさんはユキちゃんにそうじを手伝ってもらいました。あなたは友だちに何か手伝ってもらったことはありますか?

Part 2

- ・あなたは、だれかからかわれたことがありますか? どんな気持ちになりましたか?
- ・自分の好きなところをひとつ教えてください。

ティーン向け

Part 1

- ・次の文章を作ってみましょう。「わたしがいつも付き合っている友達グループは、…なグループです」
- ・あなたは、不公平だったり馬鹿げていると感じてもルールに従おうと思っていますか? その理由は?

Part 2

- ・あなたが心から信頼できる人について話してみよう。
- ・あなたの両親から学んだ大切なことは、なんですか?

家族向け

Part 1

- ・「いちいちうるさいなあ…」と思うことについて何か話してください。
- ・家族と一緒にして楽しいことはなんですか?

Part 2

- ・家族の中で一番「気持ちが伝わりにくいなあ」と思う人は誰ですか?
- ・あなたが何かに怒っているときまわりの家族はどうしていますか?

カップル向け

Part 1

- ・ご最近で、彼(彼女)に感謝したことを聞かせてください。
- ・結婚と恋愛の違いは何ですか?

Part 2

- ・あなた達の関係の中で「信頼」とはどんな意味がありますか?
- ・結婚(恋愛関係)において「許す」という事の重要性を教えてください。

ワクワク!算数らんど

整数の加減乗除編

文章問題を解くためには、文章を読み、意味を理解し、文章で表されている数式を組み立てるといふ、複雑な作業が必要です(35ページ右下「算数を通して『考える力』を身につける」参照)。

「ワクワク!算数らんど」は、この文章問題を克服するために生まれました。学校現場で活躍している先生と、発達心理の専門家がチームを組んで開発しているので、子どもの発達に合わせて無理なく進めることができます。

セットには、本物そっくりのビスケットや、キャンディやイチゴの

チップなどの具体物が数多く入っています。これらを使って、文章問題を具体物で表現することで、問題の内容を直感的に捉えることが出来るようになっていきます。また、具体物からドットチップ、数字チップ、さらには数字に置き換えてゆくことで、立式までつながられるようデザインされています。

特別支援教育で使用する場合は、具体物を使って、「増える」〈減る〉の意味を理解すること(数の合成・分解)から始めることができます。

文章問題の克服に、本気で取り組む。

子どもがワクワクする豊富な具体物。

270個以上の、立体チップや平面チップ、演算子チップなどを使い具体的に操作するところから始めます。

ゴールは立式!

ステージの後半では、ワークシートを使って実際に立式できるように進めます。ワークシートはコピーして、お使いいただけます。

“ステージ”と“ステップ”による繰り返し学習。

4段階のステージごとに、ステップを踏んで進めていくので、理解度に応じて無理なく進めることができます。

ホームページからダウンロード!

ワークシート・オリジナル問題用紙・立体ブラックボックスの図面は、ホームページからダウンロードできます。
<http://meltcom.co.jp>



“STAGE”と“ステップ”

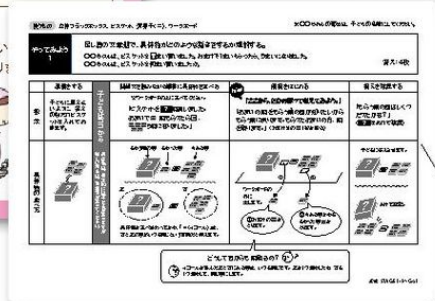
『ワクワク算数らんど』は4つの“STAGE(ステージ)”で構成されています。それぞれのSTAGEの各問題を、ステップを積み重ねながら学習していきます。

- STAGE 1: 足し算、引き算 / 1操作問題
- STAGE 2: 掛け算、割り算 / 1操作、2操作問題
- STAGE 3: () を使った四則計算 / 2操作問題
- STAGE 4: 応用問題 / 2操作、3操作問題

- ステップ 1: 具体物のみを動かしながら直感的に理解していきます
- ステップ 2: 具体物と演算子を使って式の意味を理解します
- ステップ 3: 具体物から数式がイメージできるようにします
- ステップ 4: 具体物が無くても記号や公式として操作できる段階です



基本問題 おもて面



基本問題 裏面

問題カードの構成

問題カードは、基本問題「やってみよう!」と、練習問題に分かれています。おもて面には問題、基本問題の裏面には具体物の操作の方法、練習問題の裏面には、その問題のつまづきに対しての対処方法が書かれています。

基本問題の裏面は、教示の方法やポイント、具体物の操作方法などが図解してあります。

理解度に応じた全 86 問の文章問題。

整数の「1操作問題」から、「3操作問題」までの文章問題を網羅。算数の**新指導要領**に対応した問題もありますので、授業に組み込むことも可能です。



特別支援で…個別指導や少人数の学習に適しています。お子さんの特性に合わせてお使いください。

授業で…4名程度が適当です。子ども同士で役割分担をして、順番に回して下さい。

家庭で…スモールステップですので、ご家庭でも安心して学習を進められます。

中学生…生徒さんが苦手とする項目から、学習しなおすことができます。

算数を通して『考える力』を身につける

9歳の壁を乗り越えよう

算数の文章問題を解くには、言葉を数字や演算子に置き換える力、文章をわけろ力、それらの順番を組み合わせた置き換えるなど、1つのことを様々な面から見る力「操作力=論理的思考力」が必要です。

発達心理学者のピアジェによれば、9歳~10歳ごろは、見たまま聞いたままのものを判断する“直感思考”から、見た目に左右されずに論理的に考える“具体的操作期”に移行し、『考える力』が大きく成長する時期と言われています。文章問題が苦手な子どもは、この時期に身につく「操作力」をまだ獲得できず、つまづいている状態です。これがいわゆる「9歳の壁」といわれるものです。

操作力を身につけるには、具体的な実体験をしながら、その中に意味を見出し、実体験と意味を結び付けて学習していく必要があります。

考える力を育てよう

さかのぼって考えることを「可逆的思考」と言います。算数の文章問題には逆算しなければ答えの出ない問題がありますが、それらの問題を解くには、文章を理解し、言葉を記号に置き換え、数どうしの位置関係を見渡し、さらに計算をひとつずつ前にさかのぼる思考力が必要です。「難しい」「めんどろ」と敬遠されそうですが、可逆性を含んだ問題をたくさん解くことは、子どもの「考える力」を育てるには最適です。

《ワクワク!算数らんど》は、可逆的思考が必要な問題を解きながら、子どものさまざまな「考える力」を育てることをねらいとしています。

算数を通して身につけた論理的思考力と可逆的思考力は、子どもが日常の場面で問題に直面したときの「問題解決力」に通じるものです。子ども達の考える力に磨きをかけることで、問題解決の力を育てていくことが、開発者の願いです。

¥ 11,025 (税込)

問題カード 32枚・ワークボード1枚
ワークシート2枚・オリジナル問題用紙2枚
立体ブラックボックス1セット
具体物(バスケット)30個・チップ各種240枚
操作カバー1枚・説明書1冊
寸法/外箱:265×195×50mm

監修: 本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
著者: 村上 義次 (特別支援教士 学校心理士 臨床発達心理士)
岡田 佳子 (早稲田大学非常勤講師 特別支援教士)
阿部 麻里 (特別支援教育支援員)

読み書き入門教育プログラム『ことばのいずみ』

開発・監修・著者：天野 清（教育学博士）

『ことばのいずみ』は、LD 状態の改善・回復をめざした、ひらがなの読み書き入門教育プログラムです。語彙・認知指導の「L プログラム」、音節指導の「W プログラム」、構文指導の「S プログラム」の3つのプログラムで構成されており、これらのプログラムでLD 児に1～2年の指導・訓練を行うことで、基礎的な読み書き能力を飛躍的に高め、言語的思考能力を含めた精神発達を顕著に改善することができます。

L プログラム
 <語彙・認知>
 全12ステップ

語彙を増やすための、認知能力（語のカテゴリー能力）をのびします。

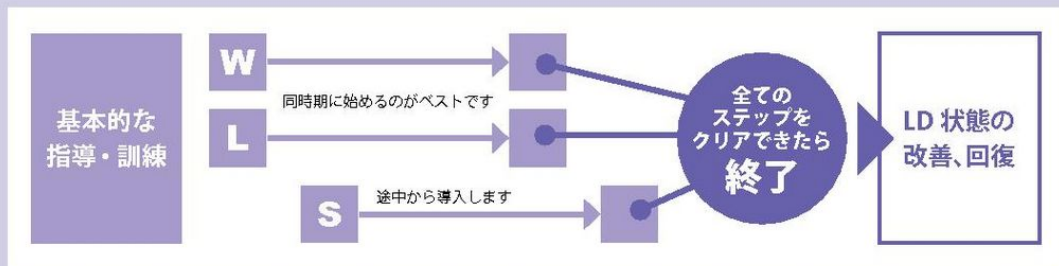
W プログラム
 <音 節>
 全27ステップ

特殊音節の学習を中心に、ひらがなの読み書き能力をのびします。

S プログラム
 <構 文>
 全11ステップ

格助詞の学習を通して、言葉での表現能力を改善します。

近日発売



※それぞれのプログラムは、単体でも使用できますが、より良い効果を得るには全てのプログラムのご使用をお勧めします。

特殊音節の学習を中心に、ひらがなの読み書き能力を伸ばす。

Wプログラム

「きって(切手)」を「きて」、「おじいさん」を「おじさん」などと書き誤ることは、LD児や幼児にしばしば見られます。これは、日本語の〈つまる音〉や〈長い音〉などの特殊音節についての理解と、その表記法のルールの未修得が原因となって生じます。

Wプログラムは、この特殊音節を含む音節をモデル（積み木）を使って表す学習を基礎に、音節ごとの音声の違いや、音節の表記のルールなどを指導する「ひらがなの読み書き」プログラムです。プログラムに沿って、系統だった指導を行うことで、曖昧だった「ひらがなの読み書き」の習得が、容易かつ正確になります。

また、基本音節のチェックリスト、特殊音節の形成テスト（促音、長音、拗音、拗長音（全特殊音節））が揃っていますので、訓練をしながら、習得レベルを知ることができます。



Wプログラム訓練キット
 ¥71,400（税込）

図版ファイル・文字カード・訓練用カード・モデル作成用積み木・ひらがな練習用紙・解説書・手引書・記録表

語をカテゴリー化する学習を通して、語彙力を伸ばす。

Lプログラム

LD児の多くに見られる語彙力の弱さは、日常の経験不足だけでなく、語彙獲得のための基礎となる認知能力の未発達、未形成が原因となって生じます。

Lプログラムでは、キットに入っている日常的な道具や、具体的な事物を描いた絵カードなどを使って、基本的な分類方法(カテゴリー分け)の学習を行います。学習課題を通して具体的な経験を積み重ねることによって、語彙力を高めるとともに、事物を体系的に見ることのできる思考力(認知能力)を高めていきます。

言葉を認知する(言葉をカテゴリーごとに分類しながら覚える)力が高まるので、語彙の獲得が容易になります。子どもは、学習することが楽しくなるとともに、記憶力がよくなるなどの改善も見られます。

Lプログラム訓練キット ¥71,400 (税込)

絵カード・文字カード・訓練ツール・
解説書・手引書・記録票
寸法/ケース 350×480×150mm



語のカテゴリー化テスト

Lプログラムによる学習・訓練効果を評価するために開発されたテストです。Lプログラムだけでなく、語彙能力、言葉のカテゴリー化能力をアセスメントするために使用することもできます。

語のカテゴリー化テスト ¥9,975 (税込)

カテゴリー化テスト/絵カード・図版・下敷き・解説書・記録票
寸法/外箱 290×386×35mm

使い方

プログラムは、個別対応での指導・訓練を行います。L・W・Sの各プログラムは、目的によって単体でも使用できますが、LD状態の回復を目的とする場合は、全てのプログラムを使用し、週2回以上、1回約60分の指導・訓練を行うことで、より良い効果を得ることができます。プログラムが終了するまでに1~2年の訓練期間が必要ですが、焦らずに着実に指導・訓練を続けることが大切です。

活用場面

ことばの教室・特別支援学級(通級)・心身障害学級・特別支援学校での個人指導・通級学級(T.T.)での個別指導・家庭(保護者または家庭教師)・学習障害児対象の塾・言語療法など

こんな使い方も…

外国人に日本語を教えるため、日本語訓練キットとして使っている先生もいらっしゃいます。

関連書籍



学習障害の予防教育への探求
読み書き入門教育プログラムの開発
著者 天野 清

10,500円(税込)
中央大学出版部

サイコロジーゲーム

サイコロジーゲームが日本初のカウンセリング向けボードゲームとして発売されて約10年、より現場に合った改版を続けながら、今も多くの現場で使われています。使用者からは、「遊びの要素をふんだんに取り入れ、クライアントが面談における緊張感を感じることなくリラックスして自己表現を行える」、また「個人面談だけでなく、グループワークでも使いやすい」などのコメントをいただいています。クライアントとのラポール形成にぴったりなツールです。

使い方

サイコロを振り、止まったマスに書かれている内容の指示に従います。“カードを引く”のマスに止まると、質問カードを引き、その内容に答えます。

対話では、応答が直接的ですから、どうしても心理的圧力(特に子ども)がかかってしまいがちですが、カードに対して答えることで、子どもが自分でも気付かなかった問題や避けていた問題などについても、話せる心境になります。

活用場面

スクールカウンセリング・アイスブレイキング・保健室登校・適応指導教室 など



小学生版はすごろくと同じ仕様です。セットに入っている動物の人形がコマになりますが、あまった人形は動物置き場においてください。ゲーム内で必要になります。

中学生版はゴール位置が決まっています。終わりがありませんので時間を決めて行うとよいでしょう。



カード質問例

小学生版

- ・お母さんが怒っているところをまねしてください。
- ・もしあなたが透明人間になれたら、何をしますか？
- ・あなたが一番怖いものは何ですか？
- ・最近少しでも、悲しかった出来事がありましたか？もしあったら話してください。ない人は、どんなときに悲しくなりますか？

中学生版

- ・あなたはどんな親になると思いますか？どんな親になりたいですか？
- ・どんな能力、または力が欲しいと思いますか？
- ・あなたが幸せになるために必要なものを3つあげてください。
- ・「キレた」ことがありますか？「キレル」ことについてどう思いますか？

小学生セット



各 ¥20,790 (税込)

ボード版1セット(パズルタイプ)
サイコロ1個・解説書
コマ(中学生セット6個・小学生セット30個)
質問カード130枚(内、白紙10枚)
チャック付きファイル(A4) 1個
寸法/ボード: 400 × 573mm
外箱: 345 × 245 × 60mm

中学生セット



※一般用カードと中学生セットのボード版をあわせて、セット組み(¥20,790 税込)もお作り致します。詳細はお問い合わせください。

監修・著者: 加藤 美香 (サイコセラピスト)

※「一般用カード(¥3,675 税込)」も単品で販売しております。

持ち運びしやすくなりました

付属のファイル(A4)に収納して、持ち運ぶことができます。



関連書籍



お父さんとお母さんのための育自書

自分さがしのためのワークブック

著者 加藤 美香

1,260円(税込)

文芸社

箱庭 DVD 教材

2巻組 ¥39,900 (税込)

箱庭療法の実践

本 DVD 教材は個人が箱庭療法を勉強するためだけではなく、講義や研修での映像教材として活用することも可能です。DVD の特徴として、各トピックの頭出しが容易ですので、持ち時間に合わせて下記メニューの順番に収録されている映像をスキップしながら、取り上げたい内容を頭出しすることができます。

映像内容

第1巻 箱庭療法の導入のために (81分)

箱庭療法における導入の基本的な質問や、そのロールプレイングを、監修者によるゼミ形式で説明しています。

第2巻 箱庭制作の実際 (84分)

箱庭療法における実践例を映像で紹介し、普段はなかなか見ることのできない実際の箱庭制作の場面を見ることができます。



トールケース2巻組
寸法 / 191 × 135 × 15mm



MPEG2

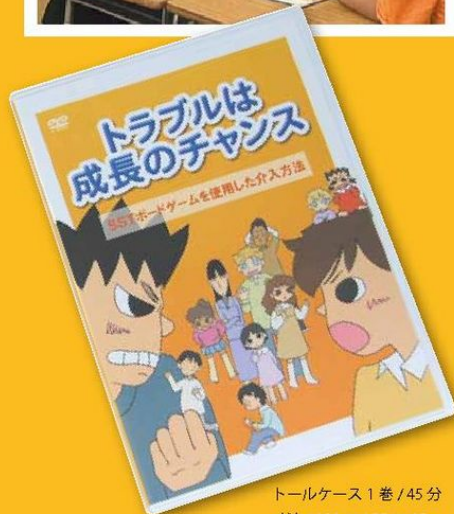


4:3

カラー

監修：木村 晴子（芦屋箱庭療法研究所所長）

DVD教材



トールケース1巻 / 45分
寸法 / 191 × 135 × 15mm

SST DVD 教材

¥7,140 (税込)

トラブルは成長のチャンス

SST ボードゲームを使用した介入方法

本 DVD は、SST ボードゲーム「なかよしチャレンジ」「フレンドシップアドベンチャー」の基本的な活用法および、活動中に子ども達の力を伸ばすための具体的な活用方法について、感情や道徳性、ソーシャルスキルに焦点を当てて解説してあります。映像では、子ども達が実際にボードゲームを活用している場面、指導者が介入している場面を紹介。ボードゲームの活用方法以外にも、介入方法の教則映像として使用できます。

映像内容

「なかよしチャレンジ」を活用しながらの介入例

1. 生徒が間違った答えを選んだときのサポート
2. 好ましい行動が出にくい生徒へのサポート
3. 黙り込みやすい生徒へのサポート

「フレンドシップアドベンチャー」を活用しながらの介入例

1. 自分の答えに自信がない生徒へのサポート
2. 相手の気持ちが理解しにくい生徒へのサポート
3. 自分の課題からはずれた答えをしている生徒へのサポート



MPEG2



4:3

カラー

監修：本田 恵子（早稲田大学教授）
鈴村 真理（臨床心理士）

こんなところで使われています

掲載ページ	カテゴリー	商品名	特徴	使用人数	学校での活用例	その他の活用施設
12	感情表現	表情ポスター	気持ちを非言語で表現	集団	特別支援 総合学習 学級活動 カウンセリング	家庭 病院 養護施設 フリースクール 適応指導教室 など
13		表情カード		個別		
14		表情シート		小グループ		
15		表情マグネット		集団		
16		表情シール		個別		
17	ソーシャルスキル	SSTカード	紙芝居形式の絵カード	集団・個別	特別支援 総合学習 学級活動 道徳 カウンセリング	家庭 病院 養護施設 フリースクール 適応指導教室 など
18		SSTボードゲーム 「なかよしチャレンジ」	子ども参加型のボードゲーム	小グループ		
19		SSTボードゲーム 「フレンドシップアドベンチャー」				
20		SST 2 折展開カード 「このあとどうなるの?」	子ども参加型の絵カード	小グループ 個別		
29		SST DVD教材 「トラブルは成長のチャンス」	SST ボードゲームの 活用実践DVD	指導者向け 解説		
22	コミュニケーション	ちよこつとチャット	質問カード型 コミュニケーションゲーム	小グループ	保護者会 PTA	家庭・病院 養護施設
23		アンゲーム ポケットサイズ 「全年齢向け」	質問カード型 コミュニケーションゲーム	2人～6人 程度	特別支援 国語 カウンセリング	家庭 病院 養護施設 フリースクール 児童相談所 適応指導教室 など
23		アンゲーム ポケットサイズ 「カップル向け」				
23		アンゲーム ポケットサイズ 「家族向け」				
23		アンゲーム ポケットサイズ 「ティーン向け」				
23		アンゲーム ポケットサイズ 「子供向け」				
27	サイコロジーゲーム 「小学生セット」	ボードゲーム型 コミュニケーションゲーム				
27	サイコロジーゲーム 「中学生セット」		2人～7人			
27	サイコロジーゲーム 「一般用カード」(カードのみ)		2人～7人			
28	カウンセリング	箱庭用具メルコム	箱庭用具	個別	カウンセリング	心理相談 家庭裁判所 など
29		箱庭DVD教材 「箱庭療法の実践」	箱庭療法の活用実践DVD	指導者向け 解説		
24	トレーニング	ワクワク!算数らんど	文章問題克服のための 算数教材	2人～4人	特別支援 算数	家庭・フリースクール 養護施設・児童館 適応指導教室 など
26		ことばのいずみ 「Lプログラム」	LD児向け 読み書き入門教育プログラム	個別	特別支援 国語	家庭 適応指導教室 など
10		ことばのいずみ 「Wプログラム」				
26		ことばのいずみ 「語のカテゴリー化テスト」				

※上記は使い方の一例です。

小学校・中学校・特別支援学校の先生方へ

文部科学省より、教材整備指針が更新されました。本カタログに掲載された教材との対比については、文部科学省の「教材機能別分類表」をご覧ください。(文部科学省のホームページからダウンロードできます)

小学校教材整備指針 【特別支援教育に必要な教材】	中学校教材整備指針 【特別支援教育に必要な教材】	特別支援学校教材整備指針 【自立活動】
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング教材 SSTシリーズ (P17～20) ・コミュニケーション補助教材 表情シリーズ (P12～16) アンゲーム (P23) ・箱庭 (P4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング教材 SSTシリーズ (P17～20) ・コミュニケーション補助教材 表情シリーズ (P12～16) アンゲーム (P23) ・箱庭 (P4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング教材 SSTシリーズ (P17～20) ・コミュニケーション補助教材 表情シリーズ (P12～16) アンゲーム (P23)

PRICE LIST

コミュニケーションツール価格表

掲載ページ	型番	商品名		税込価格	本体価格
12	HPC 01	表情ポスター		¥2,100	¥2,000
13	HCC 01	表情カード		¥2,940	¥2,800
14	HJC 01	表情シート		¥3,990	¥3,800
15	HMC 01	表情マグネット		¥9,975	¥9,500
16	HJSC 01	表情シール		¥610	¥581
17	SSTC 01	S S Tカード		¥8,400	¥8,000
18	SSTNC 01	S S Tボードゲーム	なかよしチャレンジ	¥8,400	¥8,000
19	SSTFC 01	S S Tボードゲーム	フレンドシップアドベンチャー	¥8,400	¥8,000
20	SKDC 01	SST 2択展開カード	このあとどうなるの？	¥8,400	¥8,000
22	CHC 01	ちょこっとチャット		¥1,470	¥1,400
23	J1300	アンゲーム ポケットサイズ	全年齢向け	¥1,890	¥1,800
23	J1315	アンゲーム ポケットサイズ	カップル向け	¥1,890	¥1,800
23	J1325	アンゲーム ポケットサイズ	家族向け	¥1,890	¥1,800
23	J1335	アンゲーム ポケットサイズ	ティーン向け	¥1,890	¥1,800
23	J1340	アンゲーム ポケットサイズ	子ども向け	¥1,890	¥1,800
24	WKC 01	ワクワク！算数らんど		¥11,025	¥10,500
26	WPG	ことばのいずみ	Wプログラム	¥71,400	¥68,000
27	LPG	ことばのいずみ	Lプログラム	¥71,400	¥68,000
27	LPT	ことばのいずみ	語のカテゴリー化テスト	¥9,975	¥9,500
28	PG-01-1	サイコロジーゲーム	小学生セット	¥20,790	¥19,800
28	PG-01-2	サイコロジーゲーム	中学生セット	¥20,790	¥19,800
28	PG 023	サイコロジーゲーム	一般用カード（カードのみ）	¥3,675	¥3,500
29	DVC 01	箱庭療法の実践	2巻組	¥39,900	¥38,000
29	D-SC	トラブルは成長のチャンス		¥7,140	¥6,800